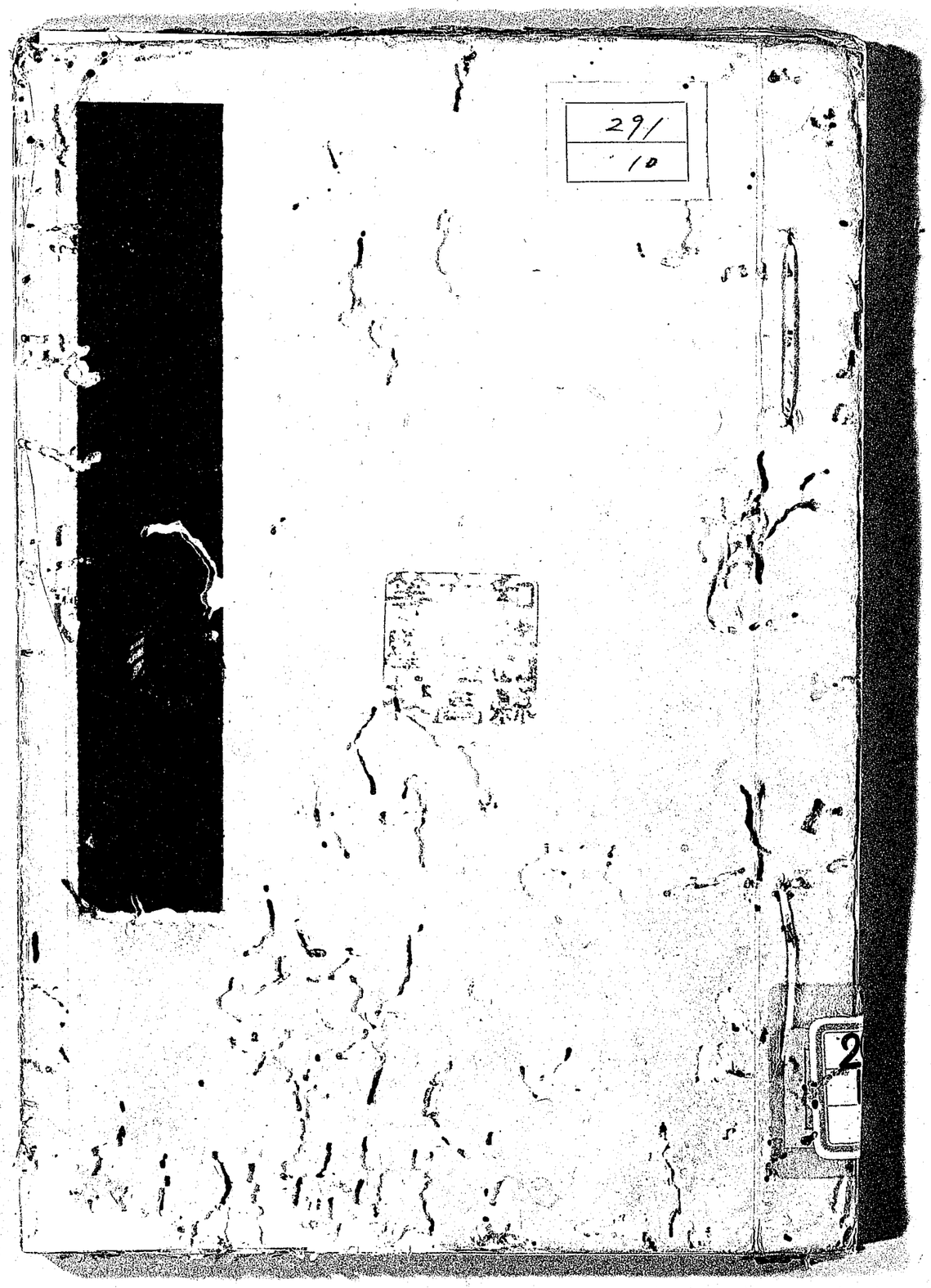


県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03936

佐野陰山一代記

横井鉄男

県立串本古座高校所蔵　中根文庫資料番号　03936

佐野霞山一代記全

中根文庫

291
10
1

古座高校図書館
28.10.21
3936

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03936

佐野隠山正意公代記

一先祖ハ佐野信濃守ト云フ者ニ有ル由國師細川伊豆守之由

一親佐野玄蕃ハ信濃ノ名字ニ成ル

一明暦二丙申年市三郎ハ生ル其年ハ市三郎ハ十ヨリ市三郎ト佐野ト

一寛文九酉五月九日市三郎ハ

清淀院様ハ片山様ハ丸亀ノ殿ハ

佐野ハ牧ノ勤ト

一延宝元丑三月市三郎ハ片山様ハ上総ノ国ニ

居れ遠ク成ル故ニ有ル由國ニ居ル故ニ有ル由記ス

[illegible]

一[illegible]

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03936

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]三郎殿[illegible]乃[illegible]月[illegible]二[illegible]
[illegible]

一[illegible]殿[illegible]
[illegible]

一[illegible]殿[illegible]
[illegible]

一[illegible]殿

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936

[illegible]

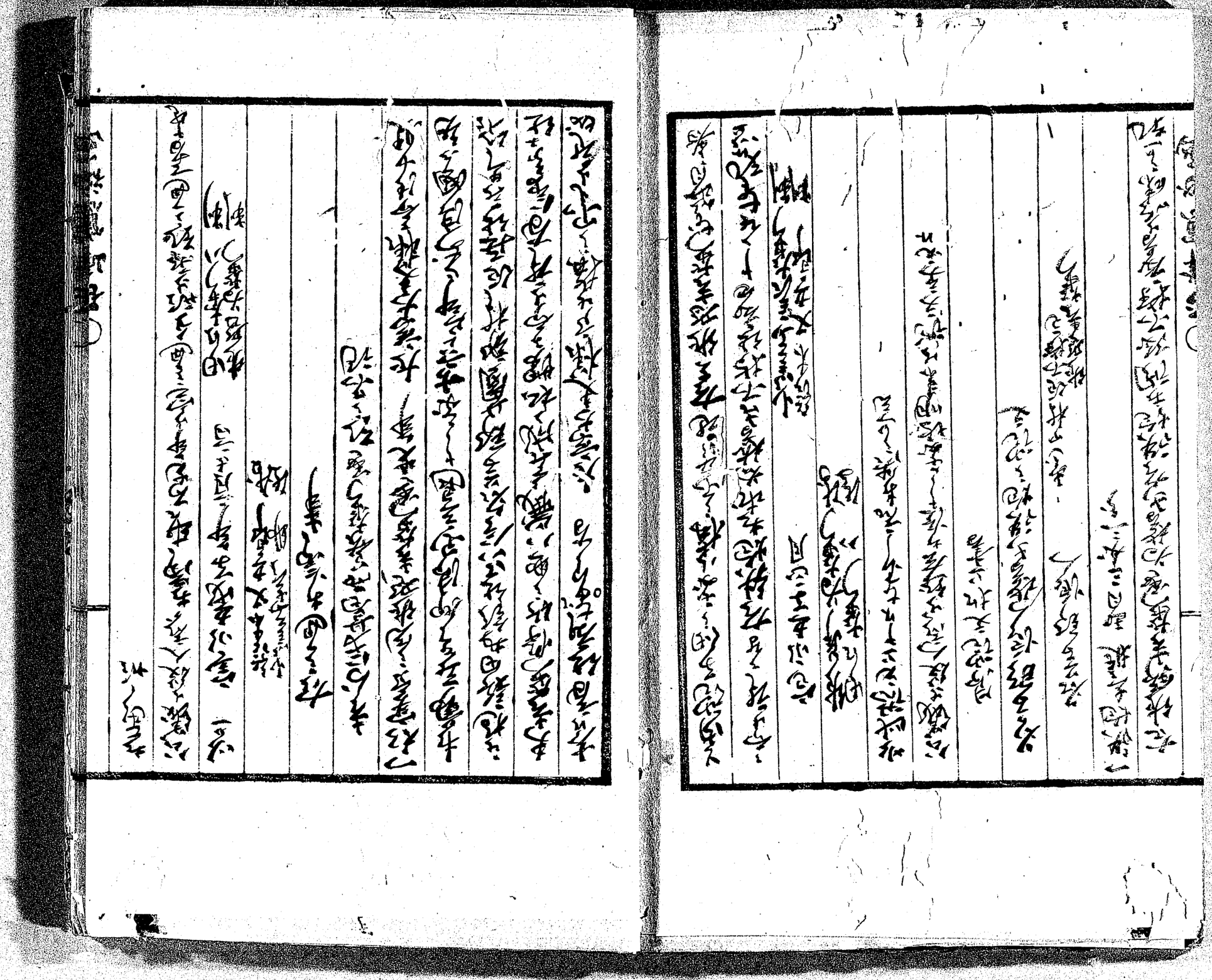
一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号　03936



書付ニ[illegible]江戸ノ[illegible]勝[illegible]次[illegible]
[illegible]

[illegible]五月四日　[illegible]

一先年[illegible]人[illegible]村地[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

一正徳五乙未年　吉[illegible]
[illegible]

一享保十八癸丑年[illegible]
[illegible]

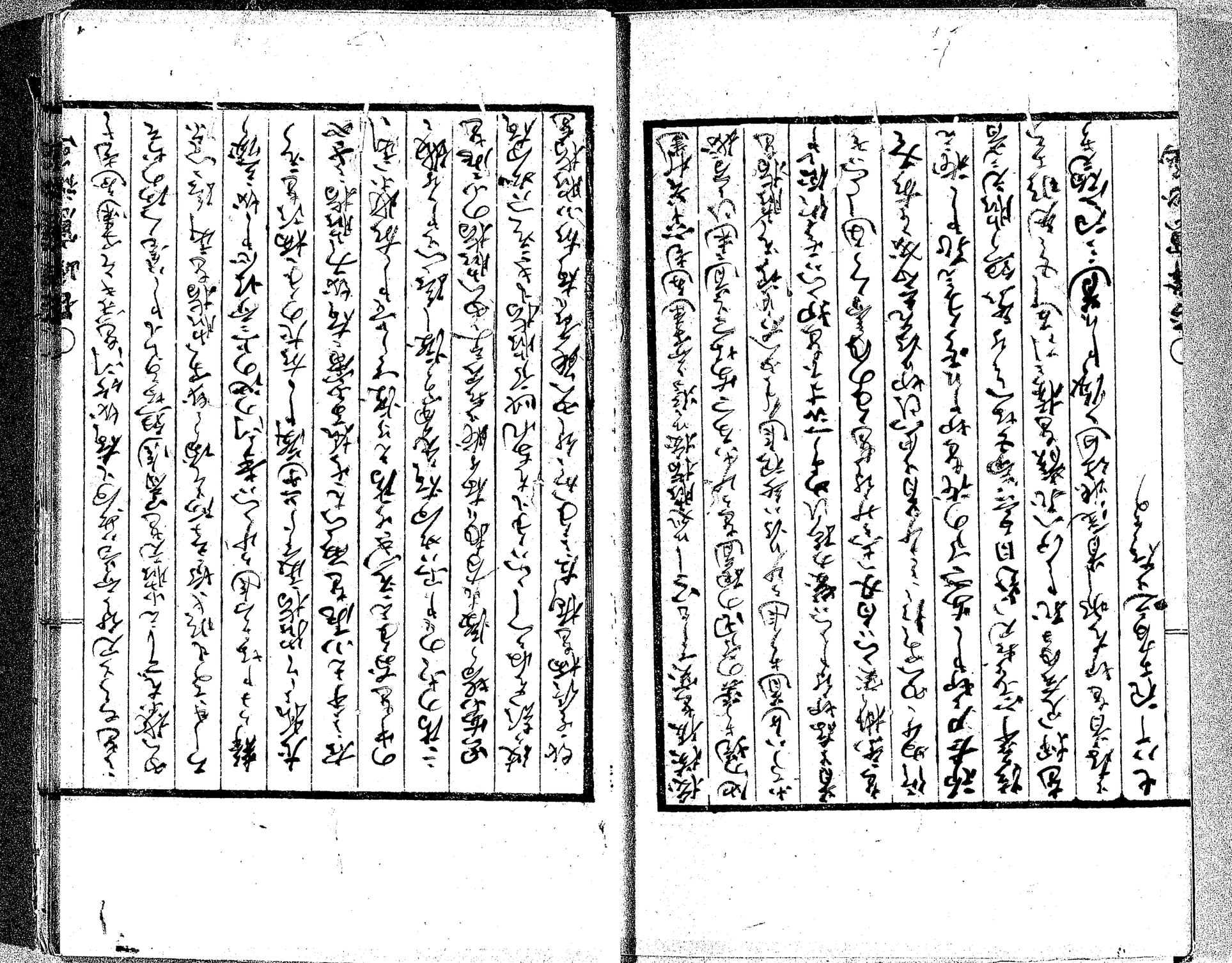
一[illegible]人[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936

県立串本古座高校所蔵　中根文庫 資料番号 03936



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

著名[illegible]実[illegible]

[illegible]

[illegible]北新所[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一寄附田地五反六畝[illegible]

殿様御寄附[illegible]

[illegible]

[illegible]

佐野前奪五代目佐野兵庫文六代目佐野平蔵後号閑

七代佐野鑒奪

佐野信山 生暦二年七月十四日 法名本成院 日蓮○長吉出仕

佐野定助 奈良法名日妙 後菊西名蹟法二月十二日妙蓮 作付

男子 菊西源左衛門 法名妙休 存

女子 佐野遠左衛門妻 後遠与 絶

下墨之 此一冊七代信山書抜孫左志記筆也

中書左世度宇治川武今殿会菩提寺有 新多倶知之文 文政二三年甲申七月七日

大秋言様 七年入来麗 上方菊舟寄信山之筆記横幅 七月

花此文名不圖繪 岩之之 余記 北遠 原 名代 信

寄与 文政二己卯年 七月七日 信時 信之

隱山處士草堂記

幾旬之常其最邇且高者為菊之嶺之為狀厚之紀北夏泉拉紅西
菊集山東趾大嶺周迴數百里一劍脊等頭株之迤邐海沿其前紀水
帝其下名常觀果其腹者無往無之金亦奇之蕉余朝夕望之觀其昔峰迴
巒疊主頂脚之勢其夫雲無霧朝氣岩沒變幻之態及林木繁間象昔蔡
其之遊所謂取之無禁用之無端者蓋乎此也意其必有高尚韻徒
離俗之士隱乎其間者何其求之未得也今年二月偶遊石和見過于北
山麓觀所謂隱山處士者處士數方七十骨格奇瘦面有烟霞之氣性
之英慈孝之使人心醉而忘倦余果知其固非風塵中之人也隱古今
名隱者太多矣有其名不其實不在魏闕而徒倫其名于其譽者有
苟利其高餌于尋禄者妖惑官位之間盈乎巖穴矣其餘慢世

県立串本古座高校所蔵 中根文庫 資料番号 03936

嫌倍高自傲慢者其跡固似其心則非也巖居川觀接流水朝夕
巢由別藉軒冕悲美莊周所謂今世尊而竊之非堯放敖之地也愛
士山居三十載日未嘗遑聲色延未嘗隔朝市忘未嘗科籌得失
逃高拳脫世羅視其左右圖書數卷琴香篆烟蕭然而已
無大令未嘗不給後無儋石未嘗不飽數瓢飲泉飲歲濃步著
奥爭則投果林丘藉草而憩即接華渚有感懷容至不必起又
不必留俯仰宇宙之間優游丘壑之中爰遣物者相終始者良可
尚也已持詩人所謂頑夫者愛士者乎嗚呼大鶴名于祿自高厥世一
別愛士之風亦自愧乎不亦自把乎書
宣德伍年丑之冬南海徒園瑜世武市撰并書
右南海先生之詩葛西氏所藏之一幅也

文集所載大周山異依而書寫之愛也遠而崇之崇拔者加集
文集與之文字大周加屋育之文字者在豪年加之也

虞山記文

時天文元年丙寅冬十月甲戌朔光名九十一年度之柱
子孫之人生七十九未樣時之傳之為人見之
つるの人事ちる可當ちる人秋夫心也なと不ひ
明名の人はなかりれ比春北身の風まれ
主原山のかるとかるとかる南靜をなるとつるとつ
しのかあふはよかるかるをよとつるもるくるる
さるくとるるくるくるくるひつつ世をなのさる歌とし

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936

なれ〳〵うこなれたる所もとむるよりまた
山〳〵峰をなら〳〵屋つゝ大聖山花を
なきむくろこのあ
ちこちに川のきよくあらかの海ほの浦の
岩を見なれぬ木
ら紀の海やちかきに波うち静まりちさなる島代山家ゝ
民化家も派たてかゝるの田畑農数ハ
さちらはさつきふなれハ鶏の如くさきへとりくゝ老耳
こて海ハ切〳〵てまく猪の男ハ杖をまつかの庵の
ひ〳〵きた時雨と雷もつたんや夜ハうゝ鹿を切ふ雷
の沖〳〵ゆ魂神ハ河ハれもまつ憑ゝ〳〵ゝ心〳〵みて
なゝ〳〵ゝ花花をかまへなそれる初め頃を加ふ序
をゝなゝ後ハ時〳〵ハ花実申月之〳〵二みをの

外故〳〵表部ハかゝゝを面〳〵青をかゝるゝ友〳〵ゝ夢きき〳〵家鶏
りきんゝるハなもれゝゝふゝをゝを表ハ山ハ山ハ鶏ハ
〳〵〳〵月むゝれを

三年ハなゝなれこ山のちゝまゝも
ワ神ゝかゝゝゝ自ゝすゝひゝん
ゝゝゝゝゝれて表なれゝゝハ山ゝおきまるへきゝ七ゝ
ゝゝゝ墓碑をいゝなゝゝなる神ハの神ゝゝ孔在岩根寿
也花ゝんゝつゝゝる機ゝをゝゝゝゝゝゝる
ゝ花なゝハなゝをいゝゝね典
ゝゝ松なゝ〳〵なゝゝゝゝん
杉ゝ平ハゝんひゝ(ぬ)れゝ表ゝゝきゝうゝんゝゝハゝゝうゝぬ

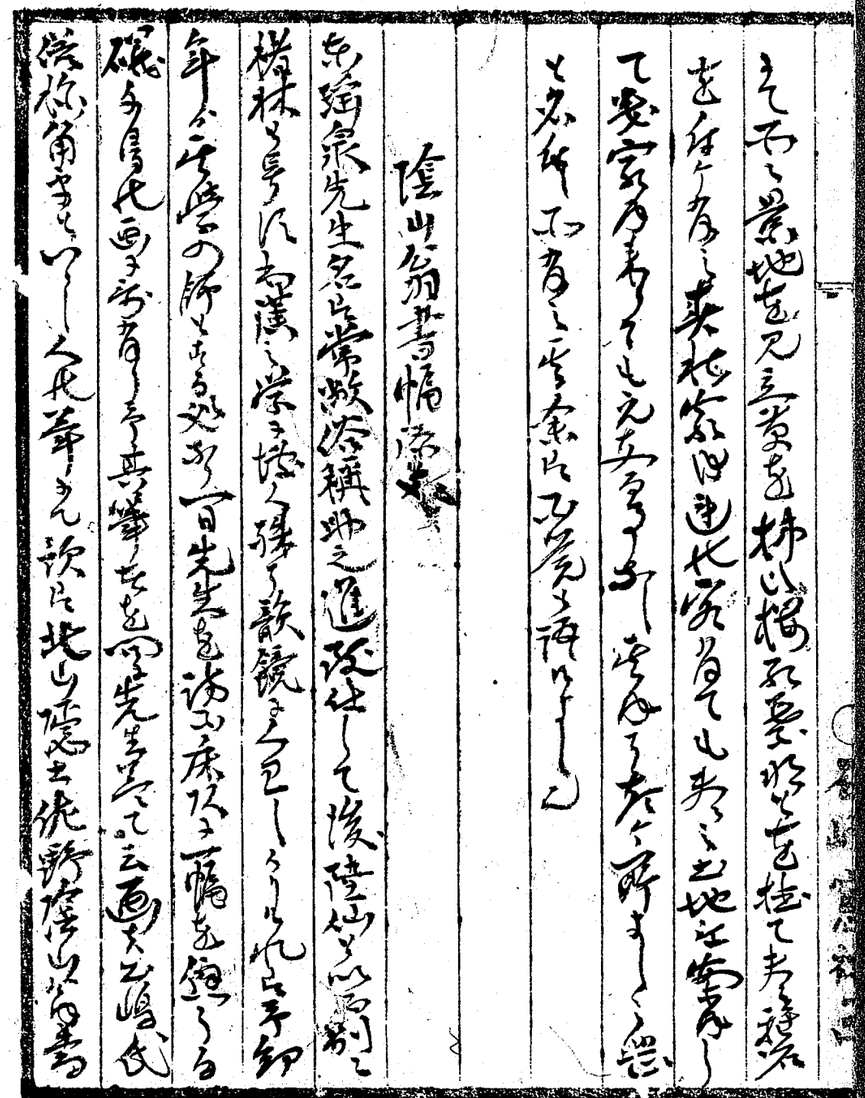
命もなからへ村中よりつらけて
なをしこの世をかりの水ぐる
くらけるも法のみちみちは山のつるを
村中よりつれて名月なれん
さらばなをしこれん山をも
う蒙せとおもしかの花月
おもひよりなれかたりこしつらん心を筆にまかせて事
つれづれ人をまつ山をまねぶ人の世
延享八月記之　北山翁九十三歳

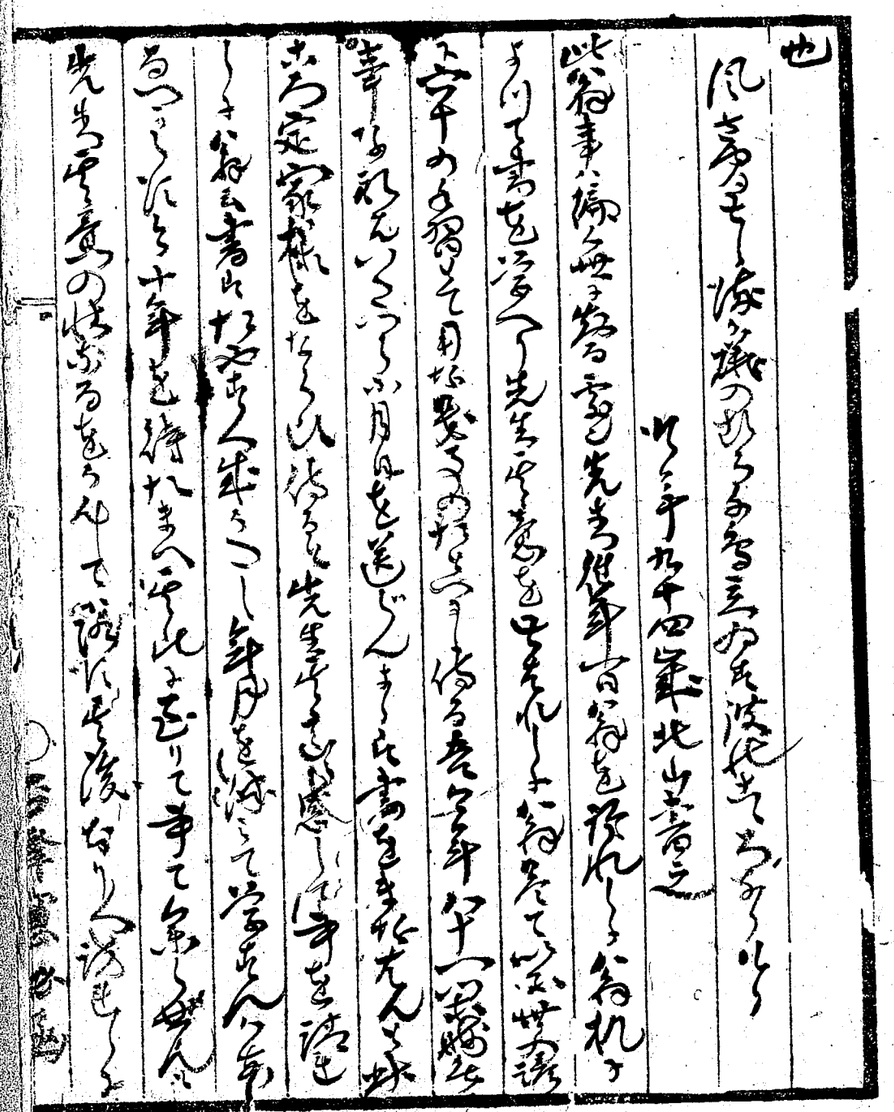
一有厳院様御参詣之後当村住人百姓大夫御参詣仰付
事世上御免ニ所法者ニ仕候大夫参詣ハ仰付
候御書免ニ仕候ハ仰出ニ入申候御参詣御辞退申上
無御仕方ニ成ニ入申候御参詣御免ニ御
申上候ニ付
世間ニ御ハ陰山義ハ光殿様を見ると云根の
松ハ大しきりと光殿見ると云
御参詣上ハ百姓ニ詠まて上ハ花と御世ニ上ハ
詠きてと光殿見ると云山ハ
如何又ハ御ハ鳥居
なと御ハ御参詣ハ花ハ

於此八月十五日花の中盃を取り給ふ事
いかばかりなる事なれば詠十二首
秋の宮中の月を詠
松風を吹き渡る音を聞く
今宵此わうの浦波の
をとこ
一山中快進 寛平御時 陰山の麓に家
を造り
目録に紀の[illegible]
金を石に成し
つくの[illegible]の白きをめでられ
[illegible]人なきを詠

物語に高砂の松に成れる人
なりし物語を聞て
[illegible]
[illegible]
[illegible]

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936





再度ゟ及ばざる事〇ゟ五十年程を過て文化年間
義の時先生北山の庵を設けて今年ゟ習ひ
始め此年を花甲ゟ十年学問して後書て家ゟ出んとの
約束なりかゝる事ゟ学問をゝ学ぶ事を止めん
と先生此言を聞て先生書を捨て去る先生
人ハ寿命ハ知難ゝ知ゝ人の約を十年ハ待て
京ゟ出られし事無之ゟ終て忠孝の隆盛を
祝及ハ人ゟ学ぶ中年ゟ代て為家入て
ゟ中切教られし事ゟ言ゟ語ゟ知ゟ心を感じ
先生乃再山に帰して約束の初をまくれしゝ大学の及ざる所
と先生ゟ先生ゟ此病を知先生ゟ去りゟ人

て後嗣子を定ゝ業ゟて家を繁昌
往者ゟ実父母ゟ病ゟ祈ゟ祈ゟ
中年ゟ九十七ゟ
北山ゟ
ゟ先ゟ
孝経ゟ
ゟて
月ゟ
ゟ
月日を空しゝ
とゟる

天地感応の理を知れば
いえいえ光明有書
此一章天陰の一端を見るべし
笠竹

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936

県立串本古座高校所蔵　中根文庫　資料番号　03936